第13期沖縄市水道モニター会議（第2回）
活 動 報 告 書

令和6年12月6日（金）開催

沖縄市上下水道局総務課企画係

第 13 期沖縄市水道モニター会議（第２回）活動報告書

【概要】

日　付：令和 6 年 12 月 6 日（金）
時　間：10：00～16：00
場　所：沖縄市上下水道局所管工事現場・漢那ダム
　　内容：工事現場見学・ダム施設見学
参加者：水道モニター５名、企画係、工務係
日　程：10：00～集合・出発　→10：25 美東小学校線　配水管敷設工事見学
　　→11：15 東部海浜橋梁施設見学　→11：40 移動（道の駅ぎのざへ）
　　→12：25 昼食休憩（道の駅ぎのざ）　→13：05 移動（漢那ダムへ）
　　→13：15 ダム施設見学（漢那ダム）　→14：50 移動（沖縄市上下水道局へ）
　　→15：30 到着・休憩　→15：35 アンケート記入・意見交換
　　→15：50 事務連絡　→16：00 解散

【活動内容】

第 13 期沖縄市水道モニター会議（第 2 回）を開催し、今回は市内工事現場とダム施設の見学を行った。

午前の部では、沖縄市上下水道局所管の工事現場を見学した。美東小学校線にて施工中の現場にて水道管が敷設される箇所の掘削状況を確認し、これから埋設される資材について見ることができた。その後は東部海浜へ移動し、橋梁施設内の水道等の管敷設状況を見学した。滅多に立ち入れない現場であることから、モニターから橋梁や埋め立て事業に関する質問が多く挙がっており、橋梁内部を見学し、詳細を知ったことで完成が待ち遠しい様子でした。午前中の市内工事現場を終えた後、昼休憩を挟み、漢那ダムへ移動した。まず初めに管理事務所担当より漢那ダムの概要説明を受けた後、本ダムの堤体や監査廊を見学した。監査廊では、ダムを安全に運営する上で欠かせない設備である地震計や陽圧力計等の数多くの観測器が見られた。様々な観測器をもって今日もダムが運営されているということを知る機会となった。

今回の施設見学では、普段立ち入ることの無い場所も多かったことからモニターにとって貴重な体験になったとの感想が多く挙げられた。今回の施設見学で学んだことを次回からのモニター会議に活かしていきたい。

・水道モニター会議での質疑応答やアンケート回答は以下にまとめる。

【質疑応答内容（抜粋）】

（美東小学校線配水管敷設工事における質疑応答）

質問①）美東小学校線に敷設されるＧＸ管（耐震管）は市内でどのくらいの割合で使用されているか？

回答①）市内ではおおよそ 2～3 割程度で使用されている。

質問②）ＧＸ管の性質として耐震性以外に何があるか？

回答②）サビに強く、有機溶剤に弱い性質をもっている。

（東部海浜橋梁施設における質疑応答）

質問①）橋梁に敷設されている管は何に使用されるのか？

回答①）上下水道、沖縄電力の電気、ＮＴＴの通信に係る管が敷設されている。

質問②）橋梁内への入り口は一か所だけなのか？

回答②）点検口として、複数個所の入り口があります。

（漢那ダム施設見学における質疑応答）

質問①）ダムの堤体を作るとき、ダム内に元々ある水はどこへ流して施工するのか？

回答①）ダム横に排水溝の役割を持つ穴があり、そこから吐き出して施工しています。

質問②）ダムの耐用年数は？

回答②）ダムの堆砂量を基準として 100 年程度とされています。

【モニターアンケート回答（抜粋）】

●今回の工事現場見学・ダム施設見学で学んだこと・感じたこと等

・普段見れない、聞けないことを体験できてとても良かった。

・ダム管理者の説明がわかりやすく良かった。

・漢那ダム施設内のマングローブ、メダカについてよく理解できた。

●水道モニター会議におけるご意見やご要望

・水道モニターを知人にもおすすめしたい。

・市町村及び浄水場毎の水質の違いについて学びたい。

・浄水場や汚水処理場を見学したい。

【視察写真】

▲工事現場見学（美東小学校線配管布設工事）

▲工事現場見学（美東小学校線配管布設工事）

▲工事現場見学（東部海浜橋梁施設）

▲工事現場見学（東部海浜橋梁施設）

▲施設見学（漢那ダム）

▲施設見学（漢那ダム）